

排出事業者のための有益情報満載ニュースレター

WASTE TODAY

2月号
2019

2019.2.25

発行者：株式会社リーテム

✓ 今月のテーマ 「プラスチック廃棄物の今後」

プラスチックによる海洋汚染が深刻化する中、プラスチック製ストローの廃止や、レジ袋の有料義務化ばかりが目立って取り上げられていますが、改めて、昨年10月に環境省が示した「プラスチック資源循環戦略（素案）」の全体像を見てみましょう。



💬 プラスチック資源循環

日本国民1人が排出する使い捨てプラスチックごみ量が米国に次いで世界で2番目に多い（国連環境計画による）とされる中、日本では第4次循環型社会形成推進基本計画（2018年6月19日閣議決定）を受けて、専門家や有識者で構成される小委員会で議論が重ねられ、「プラスチック資源循環戦略（素案）」がまとめられました。その重点戦略の概要は次のとおりです。

プラスチック資源循環戦略（素案）の重点戦略

重点戦略	概要
 1. プラスチック資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までに、ワンウェイプラスチック（使い捨て容器包装等）を累積で25%排出抑制 2025年までに、プラスチック製容器包装・製品のデザインを、分別容易かつリユース・リサイクル可能なものとする（困難な場合には熱回収） 2030年までに、プラスチック製容器包装の6割をリユース・リサイクル 2030年までに、バイオプラスチックを最大限（約200万トン）導入 2035年までに、すべての使用済プラスチックを熱回収も含め100%有効利用
 2. 海洋プラスチック対策	ポイ捨て・不法投棄防止アクション、スクラブ製品に含まれるマイクロビーズの削減、海岸漂流物の回収、海洋プラスチックの実態把握のためのモニタリング手法の高度化および自治体との連携 等
 3. 国際展開	日本の経験と技術を活かした途上国支援、モニタリング手法の高度化、手法の国際標準化のための研究ネットワーク体制の構築 等
 4. 基盤整備	静脈システムのソフト・ハードのインフラ整備、人材育成、IoTやAIを利用した回収、プラスチック・スマートの展開、バイオプラスチックや紙などの代替製品への切替え 等



株式会社リーテム

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-15-2 新神田ビル7 F

TEL. 03-5256-7041 Mail. info@re-tem.com <https://www.re-tem.com/>

2018年11月19日から年末にかけて本件についてのパブリックコメントが募集されました。
国民がどう感じているのか、結果の公表が待たれるところです。



💬 プラスチック・スマートキャンペーン

前述の重点戦略の1項目“プラスチック資源循環”の促進の一環として、環境省が推進しているのがプラスチック・スマートキャンペーンです。

プラスチックの3Rに関する個人の行動・アイデアや、自治体・NGO・企業、業界団体等の取り組みが、同キャンペーンサイトで紹介されています。また、環境省公式twitterや国際シンポジウムの場合、2019年6月に日本で開催されるG20等において、広く国内外に発信されるそうで、キャンペーンサイトに登録すれば、キャンペーンロゴを使ってPRが可能です。



💬 プラスチック・スマートの参加状況

セブン&アイ、日本マクドナルド、積水ハウス、イオン、三菱商事、兵庫県、沖縄県、北九州市、呉市など、1月末の時点で176社・団体が登録しているとのこと。登録数は今後も増えていきそうです。斬新な取り組みについて、今後の本コラムでも紹介したいと思います。

◇ リーテムのサービスのご紹介



**オフィス機器、什器リユース・リサイクル
ワンストップサービス**

https://www.re-tem.com/service/service_list/onestop-service/



株式会社リーテム

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-15-2 新神田ビル7 F
TEL. 03-5256-7041 Mail. info@re-tem.com <https://www.re-tem.com/>